京都市主催

デジタル化・DX 実践講座

申込締切
令和6年
8月26日(月)

デジタル化・DX導入に向けて
「データ活用等の価値は理解できているが、進め方が分からない」
そんな課題を解決に導く全５回の実践講座

開催期間 令和6年 9月4日(水)～12月19日(木)　全5回　参加費無料

参加対象 京都市内に本社を有している中小企業（みなし大企業は含まない）で、社内のデジタル化・DXを推進する責任者及び担当者等

※以下のいずれかの講座を受講された企業は対象外　令和4年度「京都市DX人材育成講座」、令和5年度「京都市デジタル化・DX実践講座」

開催場所 京都リサーチパーク 他

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地
【アクセス】https://www.krp.co.jp/access/
- 電車: JR嵯峨野線 丹波口より徒歩5分/阪急西院 大宮より徒歩20分
- バス: 市バス32・43・73・75・80系統に乗車
  京都リサーチパーク前で下車

第1回～第3回	1号館 4F G会議室
第4回	4号館 2F Room1
第5回	京都産業会館ホール（京都経済センター2F）

参加定員 20名（1企業1名）

お申込み 申込は、下記URLからお願いします。
https://www.astem.or.jp/entre/dx-jissen

講座の概要

構成 DX導入を実践していただくことを目的に、全体を3つのステップでファシリテートしつつ、参加企業個別の具体的なプラン作成には、コーチングスタイルで支援します。

- **Step1** 「データドリブン(注)によるDX」の他社事例を、複数パターン研究し、それぞれのポイントを具体的に抽出して理解を深めます。
- **Step2** 他社事例から応用できるポイントを参考に、自社におけるDXの「具体的な方向性」の検討を重ねて見極めます。
- **Step3** 自社の、どのデータを、どのように活用するか、そのためにどんな環境を整えるべきか、方向性を具体化してプランの概要をまとめます。

(注)データドリブンとは、勘や経験などに頼るのではなく、データの分析結果をもとに、課題解決のための施策の立案やビジネスの意思決定などを行う業務プロセスのことです。

※講座期間中や終了後、DX導入の実現に向けてITコーディネータによる個別指導が入ります。

発行：京都市産業観光局産業イノベーション推進室　京都市印刷物　第064291号　令和6年7月発行

京都市 CITY OF KYOTO

プログラム

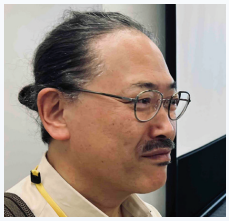
第1回	9/ 4(水)	午前10時～午後5時	**DXへの覚醒：** 変革の意義の理解と他社事例研究	現状維持からトランスフォーメーションする意義を理解します。他社のDX事例を複数パターン研究し、自社に応用できるポイントを抽出・言語化します。
第2回	9/11(水)	午前11時～午後5時	**ビジョンを描く：** デジタル変革の方向性設定	それぞれが分析した自社の現況や方向性の整理結果を共有します。デジタル化の有効性や固有リソースの優位性から、進むべき方向性の検討を深めます。
第3回	9/19(木)	午前11時～午後5時	**戦略のブラッシュアップ：** DXプランを共創で磨く	グループディスカッションや、共通する課題に対する講師のアドバイスにより、自社のDXプランをブラッシュアップします。
第4回	10/ 2(水)	午前11時～午後5時	**フィードバックの連鎖：** DXプランの進化と深化	DXプランの発展を目的に、グループディスカッション、代表プランの発表、質疑応答や相互のフィードバックを重ね、想定される課題へのアドバイスを受けて、さらにブラッシュアップします。
第5回	12/19(木)	午前11時～午後3時	**アクションへの道標：** DXプラン発表会	参加各社によるDXプランを発表します。実行段階で外部のベンダーに、明確な指針を説明できるレベルのプランを目標とします。

※第2回～第4回の午前中には、任意参加の「取組事例の紹介」を実施します。
※講座期間中、「DXプラン」の作成にあたり、ITコーディネータが個別指導を実施します。
※第1回～第5回の講座間に課題を提示します。
(注)PoCとは、Proof of Conceptの略で、新しい概念や理論、原理、アイデアの実証を目的とした、試作開発の前段階における検証やデモンストレーションを指します。

講師紹介

経験豊富で多彩な講師陣が、参加企業の皆さまの具体的なDXプラン作成を強力にサポートします。

孝本 達哉 (コンサルタント)
Tatsuya Kohmoto



- 企業がDXを推進するうえでの「意義」と「ロードマップ」を示し、最初の一歩を着実に踏み出すための具体的なプランニングを支援します。
- コーチングの観点から参加者の意欲を効果的に引き出し、取り組みの共有を促進することで、それぞれの成長を支援します。

渡邉 奈月 (中小企業診断士)
Natsuki Watanabe

- 中小企業のDX導入事例の深い洞察を踏まえて、「人」「組織」の観点から、アドバイスを伝えます。
- DXを推進する立場にとって有効な、社内外のステークホルダーを説得するために必要なツールを紹介します。

阿波﨑 たかね (データサイエンティスト)
Takane Awasaki

- 「データ分析」「IT」の観点から、DXを推進するうえでの具体的なアドバイスを伝えます。
- データ活用の際に発生する、AI倫理や個人情報の取り扱いや、外部の専門業者へ相談する際の留意点を伝え、DX実現の道筋を支援します。

南阪本 一平 (プログラムコーディネーター)
Ippei Minamisakamoto

- 中小企業のDXを推進する当事者として、チームディスカッション等のファシリテーターを担当します。
- プログラム全体の効果を最大化するためのコーディネートをいたします。

受講条件

- 全5回の講座を全て受講すること
- 本講座の受講前にデジタル化・DXの取組状況を確認するためのアンケート調査に協力すること
- 本講座の発表会(第5回)で自社の「DXプラン」を発表すること
- 本講座終了後、ITコーディネータの助言を踏まえ、受講中に作成した「DXプラン」の活用を検討いただくとともに、進捗状況を運営事務局へ報告すること
  ※ITコーディネータは、本事業の一環として運営事務局から派遣します(無料)
- 本事業の取組成果を発表会などで広く発信されることに同意すること
  ※発信される情報は、事前に確認いただきます

問合せ先

公益財団法人 京都高度技術研究所 (本事業の運営委託先)
地域産業活性化本部 人材育成支援部 京都市「デジタル化・DX 実践講座」事務局

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地　Tel.075-366-0164 (受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ)
Fax.075-315-6634　E-mail：info-dx@astem.or.jp